

中学校 1年 国語科

考える
表す

話す・聞く

育成したい
国語力

複数の事例や考え方を比較することにより、自分の意図を効果的に話す。他の事柄や意見と比較しながら、話し手の意図を分析的・批判的に聞き取り、自分の考えを組み立てる。

単元名 「話し合って考えよう」

単元の目標

効果的に話し合って、よりよい答えを導き出す。(話す・聞く能力)

導入のワークシート

「話し合いで問題を解決しよう」質問の解答

問題番号	個人解答	班解答	正解	問題番号	個人解答	班解答	正解
1				21			
2				22			
3				23			
4				24			
5				25			
6				26			
7				27			
8				28			
9				29			
10				30			
11				31			
12				32			
13				33			
14				34			
15				35			
16				36			
17				37			
18				38			
19				39			
20				40			

個人得点 班得点

班員1	班員2	班員3	班員4	班員5	班員6	班員7	班平均

話し合い得点

- 10 マラソンの距離の42.195 kmはギリシャの故事に基づいている。
- 11 甘さを感じるのは、舌の先端のほうである。
- 12 ジェット機は大気圏外でも飛べる。
- 13 日本人の約8割は左巻きつむじである。
- 14 ウサギはみんな目が赤い。
- 15 胎児は母の胎内でも、大便をする。
- 16 常に世界一のベストセラーは聖書である。
- 17 「不可思議」という数の単位がある。
- 18 一般的に田舎の雀は早寝で、都会の雀は夜更かしである。
- 20 世界一使用人口が多い言語は英語である。
- 21 雑草の90%は帰化植物である。
- 22 馬は鼻でしか呼吸できない。
- 23 オリンピックの金メダルは純金製である。
- 25 魚は眠らずに泳ぎ続ける。
- 26 らくだのこぶの中身は水である。
- 27 サボテンのつげは葉が変形したものである。
- 28 ものを買うとき、1円玉は店で使える枚数に制限がある。
- 29 鉄道最北端の駅は稚内駅である。
- 30 酔を飲むと体が柔らかくなる。
- 31 朝のほうが晩より身長が高い。
- 32 10円玉は10のあるほうが表である。
- 33 動物の鳴き声にも外国語や方言がある。
- 34 水上生活(舟などで)は法的に可能である。
- 35 チーズ用のナイフがギザギザになっているのは、摩擦を少なくし、スムーズに切るためである。
- 36 指を引っ張ると「ポキッ」と鳴るのは、関節に気泡(気体の泡)ができるからである。
- 37 パイナップルにも種がある。

授業の流れ

第1時

個別・グループ

(導入)話し合いの効果を確認する

クイズ40問を「グループで話し合った結果の得点」と「各自で解いた結果の平均」で比較する。

グループコンセンサスの得点 - (平均) 個人の平均
= (平均) プラスになるほど話し合いの機能が低い。

話し合いの有効性を実感

第2時

個別・ペア

課題解決のための発想を広げる

マンダラを使い、解決策を各自考える。
解決策に優先順位を付ける。
ペアか個別で優先順位の高いものについてその内容を詳しくする。

第3時

グループ

ディスカッション

ディスカッションでの意見を付箋に書く。
付箋を緊急度と重要度によって評価し、マトリクスに貼る。

第4時

一斉

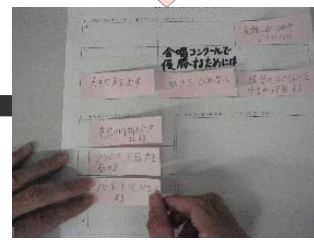
発表

ディスカッションの結果を発表する。
クラスで意見を交わし、5項目程度の標語にする。

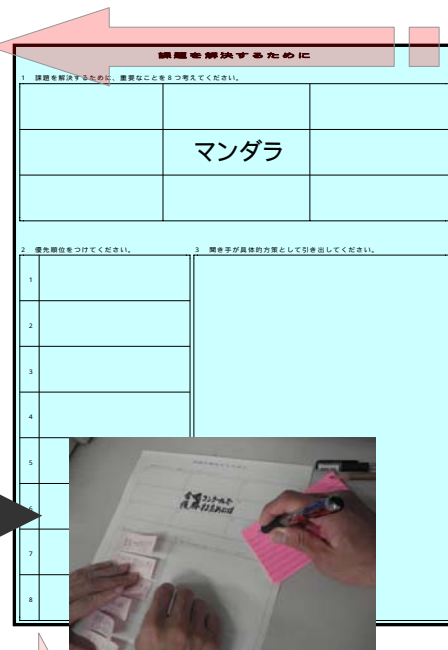
解決策を考えたり、話し合うためのワークシート



解決策を8つそろえます。



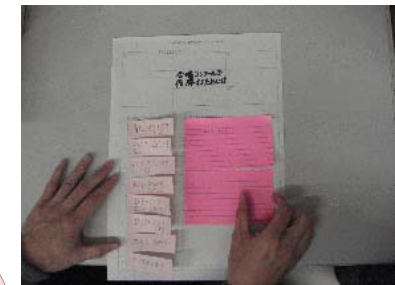
優先順位をつけて順番に張り直します。



優先順位の高い策を詳しくした内容を大きい付箋に書きます。



真ん中に課題を書き、付箋に解決策を書いて周りに貼ります。



大きい付箋も貼り付けて完成!

国語力育成の視点

[第1時]演習によって、話し合いの有効性を体験的に学び、関心意欲を高めます。
[第2時]自分の意見を付箋に書き出し、優先順位を付けたり詳しくしたりすることで、意見を述べるための準備をします。
[第3時]フレームワークを効果的に活用し、話し手の意図を分析的・批判的に聞き取ったり、それに対する自分の意見を明確に主張したりして、課題解決のためのよりよいコンセンサスを得て、考える力や表す力を育成します。

話し合いで整理をしましょう

